



2022年12月27日、第1回九州・沖縄エリア検討会がオンラインにて開催されました。今回の検討会は若手研究者が新たな仲間を作り、情報や悩みの共有をすることで研究遂行への意欲を高めることを目的として、企画をしました。

参加者は15名で、九州・沖縄エリア以外の方や教育・研究の経験豊富なベテランの方もご参加いただきました。少人数での交流ができるよう、4つのグループに分かれて35分間の意見交換を2回

14:00～	開会
14:10～	JANS 若手の会の紹介
14:25	エリアコーディネーターによる自己紹介
14:25～	第1部：カタリバ その1
15:00	グループにわかれ、意見交換
休憩	
15:00～	第2部：カタリバ その2
15:40	グループをシャッフルし、異なるメンバーで意見交換
15:40～	まとめ・終了（アンケート記入）
15:50	

行いました。グループでの意見交換は、教育・実践と研究との両立、コロナ禍における研究遂行や研究時間の確保、ワークライフバランスの工夫など、参加者が自由に語れるような形で進めていきました。

参加者の共通の悩みとして研究時間の確保が難しいことが挙げられ、工夫点についても活発に意見が交わされていました。具体的な工夫として、目標管理リストを作成し可視化する、エフォート（教育・研究・組織運営などに費やす時間）管理をする、スキマ時間にできることを必ず行う、などが紹介されました。

#### 参加者アンケートからのコメント（一部抜粋）

- ・色々な先生方の研究や教育の工夫が聞けて、とても有意義な時間だった。
- ・同じ悩みを抱えながら、教育・研究に邁進しておられる先生方がいらっしゃることに、勇気づけられた。自分も頑張ろうと思った。
- ・多施設研究に関することやワークライフバランスの工夫など知ることができ、勉強になった。
- ・自由な意見交換は、仲間意識が芽生えるきっかけになったと思う。
- ・教育歴や研究歴の長い先生方とお話しすることができ、勉強になった。

年末のお忙しい時期に、検討会にご参加いただきました皆様、ありがとうございました。これからも、エリアコーディネーターとして、若手の皆様の交流の機会を作っていきたいと考えています。

九州・沖縄エリアコーディネーター

村井孝子、大城真理子、豊里竹彦、松永由理子